

平成30年度 兵庫県立兵庫高等学校 学校評価票 集計結果

学校経営の方針

年度目標		「質素剛健・自重自治」の具現化・文武両道を目指す・キャリア教育の充実・マナーの向上											
		「30年評価」欄 …… 評価の基準 1:よくできた 2:できた 3:あまりできなかった 4:できなかった 5:判断材料に乏しく回答できない											
領域	評価の観点	評価項目	番号	具体的方策(実践目標)	30年評価						29年評価	28年評価	
					1 (%)	2 (%)	3 (%)	4 (%)	5 (%)	平均			
学校運営	開かれた学校づくり	保護者・卒業生・地域への情報発信	1	ホームページを更新し、常に新しい情報の発信を心がける	12	64	10	0	14	3.9	3.7	3.4	
			2	学年通信を通じて、学校行事の取り組みと成果、進路情報等を保護者に伝える	50	46	4	0	0	4.4	4.6	4.3	
		学校紹介の推進	3	中学校訪問を実施し情報交換を行うとともに、広報活動をする	12	68	2	0	18	4.1	4.4	3.8	
			4	学校説明会・オープンハイスクールにおいて学校の概要説明、在校生との交流、授業見学、部活動見学を通じて、本校の特色を理解してもらう	54	44	0	0	2	4.6	4.7	4.3	
	教職員の資質向上	情報機器の活用と能力の向上	5	ファイルサーバーによって文書を共有化し、管理を徹底する	26	58	10	0	6	4.1	3.9	3.7	
			6	職員研修会(人権、教育相談、情報など)や公開授業を実施する	26	60	10	0	2	4.1	3.9	3.6	
	危機管理体制の整備	防災教育研修会の実施	7	「地震防災・危機管理マニュアル」にそって危機管理体制を整備し、職員の共通認識を深める	10	58	24	4	4	3.5	3.4	3.4	
			8	学校管理下の事故に対する体制の徹底	14	68	16	2	0	3.8	3.7	3.4	
	適正な予算執行	経理事務の厳正化	9	予算執行の適正化を図るため、複数人によるチェック体制を確立する	12	46	10	0	32	3.9	4.0	2.8	
			10	光熱水費等の経費節減に努める	24	50	16	0	10	3.9	4.0	3.8	
教育課程	学習指導	主体的・積極的な学習態度の育成	11	授業における到達目標を明確にし、生徒の主体性を高めるような学習指導を行う	24	62	12	0	2	4.0	4.1	3.7	
			12	必要に応じて適切な課題を与え、家庭学習の充実を図る	28	62	6	2	2	4.1	4.3	3.8	
			13	土曜自習教室及び長期休業中の補講授業を充実させる	22	54	24	0	0	3.7	3.9	3.6	
		効果的な学習	14	生徒の実態に応じた効果的な授業展開を図る	22	70	8	0	0	4.1	4.0	3.9	
			15	考査結果を分析・評価し、その結果を教師間で共有して授業改善に役立てる	12	58	18	8	2	3.5	3.5	3.2	
			16	考査結果を面談等の資料として生徒と共有し、学習指導改善の材料とする	18	62	14	0	6	3.9	4.0	3.3	
	生徒指導四綱領「質素・剛健・自重・自治」に基づく指導	モラルとマナーの向上	17	HR、集会(全校・学年)を通して、社会の一員としてのマナーを身につけさせる	18	60	20	2	0	3.7	3.8	3.5	
			18	通学マナーと事故防止対策を徹底することを学校全体として行う	16	60	24	0	0	3.7	3.6	3.2	
		19	様々な学校行事を通して生徒のリーダー性を育てる	56	42	2	0	0	4.5	4.4	3.7		
	進路指導	進路の探求	20	キャリアサポートから話を聞く会等を通して、生徒の職業観を育成する	40	54	4	0	2	4.3	4.2	3.7	
			21	キャンパスツアー(神戸大学)、出張講義等を通して、生徒の大学・学部・学科に対する理解を深める	44	44	4	0	8	4.4	4.4	3.9	
			22	多様な進路情報を提供することによって各学年と連携を図り、生徒や保護者との面談を充実させる	28	58	8	0	6	4.1	4.1	3.5	
			23	東京みらいフロンティアツアーや研究室訪問、インターンシップ事業等に積極的に参加させ、生徒の進路意識の向上を図る	40	46	6	0	6	4.3	4.1	3.8	
	特色ある教育課程の充実	教育課程の検討	24	生徒の現状に適した教育課程の編成を図る	30	56	6	2	6	4.1	3.7	3.4	
			コース・類型の活動の共通理解	25	創造科学科・未来創造コースの活動を活性化させる	36	54	0	0	10	4.4	4.3	4.1
				26	創造科学科推進委員会を機能させ、教職員の共通理解を図る	26	52	12	0	10	4.0	4.0	3.4
保健・安全教育の充実	生徒・教職員の主体的な健康づくり	27	保健指導プリント・保健ジャーナル等を発行し、心身の健康の自己管理能力の向上を図る	24	60	4	0	4	4.2	4.2	3.8		
		28	保健部からの情報発信や、保健指導を通じて、生徒の公衆衛生に対する意識の向上を図る	14	74	6	0	4	4.0	4.1	3.7		
		29	学校医健康相談・キャンパスカウンセリングの積極的な活用を推進する	26	60	10	0	2	4.1	4.0	3.8		
	生徒の安全対策指導	30	運動部生徒への安全講習会(6月)を実施する	22	52	6	2	14	4.0	4.1	3.3		
		31	外部団体の指導により、1年生全員と教職員を対象に、心肺蘇生法とAEDの講習会を実施する	32	52	0	0	12	4.4	3.6	3.9		
		32	命の大切さや人を思いやる心を育むために、人権に関するHRを年1回以上実施する	34	62	2	0	2	4.3	4.3	3.7		
人権教育の充実	人権意識を育てる	33	講演会や映画鑑賞会を実施し、人権尊重の精神を高める	30	60	6	0	0	4.2	4.3	3.9		
		34	国際理解教育の充実	34	58	4	0	2	4.3	4.5	3.8		
課題教育	国際理解教育の充実	自国や外国の歴史・文化の理解	35	インターナショナルデーを通して、国際的な視野を広げる	28	54	2	0	14	4.3	4.5	3.3	
			36	床磨き・ワックスがけ・モップによる特別清掃や、通学路を中心に学校周辺の清掃を年3回実施する	28	60	10	0	2	4.1	4.3	4.0	
	清潔で快適な学習環境の維持	学校美化・衛生意識の向上	37	整美委員を中心にクリーンアップ週間などで校内美化を啓発する	18	68	10	0	4	4.0	3.9	3.7	
			38	施設・設備の点検と安全を図る	12	70	8	2	8	3.9	3.6	3.4	
			39	ゴミの分別を徹底し、ゴミの資源化を図る	8	74	18	0	0	3.7	3.8	3.4	
			40	図書室の積極的活用	32	54	4	0	8	4.3	4.2	3.6	
	図書室の積極的活用	図書室の充実	41	図書を充実させ、環境を整備する	12	54	8	2	24	3.9	4.0	3.4	
			42	SGH事業の推進	32	54	2	0	10	4.3	4.3	3.8	
SGH事業の推進	グローバル人材の育成	43	SGH推進委員会を機能させ、教職員の共通理解を図る	28	48	10	0	12	4.1	3.9	3.1		
		いじめ防止	未然防止・早期発見	44	いじめ防止マニュアルを活用し、いじめ認知能力の向上を図る	12	74	6	0	8	4.0	3.8	
45	生徒の学校生活について、同僚・保護者と連携をとるなど未然防止・早期発見に努める			12	82	2	0	4	4.1	4.0			